

令和5年6月1日

先日、雑誌を見ていたら、「めんたいパーク」という所が紹介されてました。明太子の製造販売のカネフクさんが運営している所で、明太子やその関連の商品を販売しているのですが、これが家族連れで賑わっているとの事で、普通に考えれば、明太子と子供というのは「辛い」というキーワードで相容れないので結びつかないのですがこのめんたいパーク、敷地の多くをキッズスペースとして開放していて、子供の遊び場所が豊富、故に子供が行きたがる、子供が遊んでいる間に親は明太子を買う、という流れができるわけですね。一見では相容れないであろうものが融合するという発想の転換が素晴らしいです。

こういう発想の転換ということ言えば、先日テレビでやっていたのですが、中華料理の一流シェフが、自身が苦手なレバニラ炒めを人気メニューにした、というのも思い出します。レバーの鉄臭さで唯一嫌いなメニューだったけれども、そんなシェフ自身でも美味しく食べられるレバニラ炒めを試行錯誤しながらいろんな調味料を試して完成させたら、元々好きな人嫌いな人関係なく大好評だったという話ですね。

そういえば、あの「堂島ロール」もそうですね。モンシエールさんのオーナーはクリームが大の苦手だったわけですが、そんな自分でも美味しく食べられるクリームを使ったロールケーキをということであの「堂島ロール」が誕生したんですね。

好きな物・得意な物を発展させていくというのは常套手段ではあるのですが、発想の転換で、嫌いな物・苦手な物を努力や工夫を重ねることで好きな物・得意な物に昇華させていくというのは、相当な努力と工夫が必要ではあるけれども、大きな可能性を秘めているということですね。今後の仕事に活かしていくべく参考にしていきたいと思えます。

以上

代表取締役社長 角高哲治